

2022 NARO-FFTC 国際シンポジウムプログラム概要

10月17日（月） 10:00–12:00（日本時間）

開会挨拶	農研機構	久間和生 理事長
	FFTC	Su-San Chang 所長
	OECD–CRP	中山一郎 科学アドバイザリーボードメンバー

基調講演

IPCC 第6次報告書概要1	長谷川利拡（農研機構）
IPCC 第6次報告書概要2	Rachel Bezner Kerr（コーネル大学）
アジア地域の小規模農家が実践する気候変動への適応・緩和	
Bjoern Ole Sanger（国際イネ研究所）	

10月17日（月） 13:15 ～ 18日（火） 15:20

セッション1 NARO-OECD セッション（オーガナイザー 長谷川利拡）

食料システムにおける気候変動への適応

一適応、緩和、生態系サービスの間のシナジーとトレードオフ

- 1) 観測された影響と将来リスク（5トピック）
- 2) 気候変動への適応策（5トピック）
- 3) 適応策と緩和策の総合的評価（7トピック）

10月18日（火） 15:40 ～ 19日（水） 17:00

セッション2 NARO-FFTC セッション（農研機構側オーガナイザー 西森基貴）

アジア地域の小規模農業に及ぼす気候変動の影響と気候情報サービスを活用した適応技術

- 1) 適応策、緩和策の取り組み状況（国別レポート、7トピック）
- 2) アジア域の気候情報を活用した影響と適応（6トピック）

*使用言語：英語（通訳なし）